

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:10 事業名:山梨近代人物館費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
村上アドバイザー	<p>・教育普及事業のチラシを見ると、定員が決まっ ていて申込制になっているが、申込人数が足りな かったことは過去にあるのか。</p> <p>・表を見ると定員はうまっている感じだが、定員を 満たさなくても実施しているのか。</p>	<p>課長 百瀬友輝</p> <p>課長 百瀬友輝</p>	<p>・定員を満たさない場合もある。</p> <p>・定員を満たさなくても実施している。</p>
村上アドバイザー	<p>・追加資料のところで、年度別の人数があつた が、29年度の3月が合計491人と過去最低人数 かと思われる。年度末は確かに忙しい時期だが、 この時は何か理由があつたのか。</p>	<p>課長 百瀬友輝</p>	<p>・特にこれといった理由はないと思う。</p>
村上アドバイザー	<p>・夏休みの8月、小中学生の利用が多いのは夏 休みだからか。</p> <p>・それは今後も続けていく方向か。</p>	<p>課長 百瀬友輝</p>	<p>・夏休み期間中に、当館に加え県立文化施設4館と山梨ジュエリーミュ ジウムとの6館で連携して、夏休みスタンプラリーを実施している。その関 係もあり、小中学生の利用が多いと思われる。</p> <p>・はい。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
村上アドバイザー	<p>・資料によると、オープンして4年になるが、この期間を区切った展示テーマというのは、繰り返しているのか、それともいつも新しい人なのか。</p> <p>・何度も通っている方だと、たまには人物が重複することもあるのか。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・オープン以来、県庁別館展示施設整備検討委員会で選定した展示人物50人を基本的には、毎回9人ずつ、年2回展示替えをしているので、複数回展示している人もいます。その都度展示テーマを決めて行っているため、重複する人もいますが、展示内容については説明や展示物など、目新しいものを展示するようにしています。</p> <p>・はい。</p>
小澤アドバイザー	<p>・先ほど、県内小中学校へPR文書を送ったとの話があったが良かったと思う。</p> <p>また、資料でこの事業の対象を県民「等」としているが、県外の方の割合がまだまだで、県内すらあまり知られていないと感じている。広報の仕方やPRが足りないと感じる。</p> <p>特に県外の方は、立派な人達を創出している山紫水明で素晴らしい山梨県を、知りたがっていると思うので、もっと、県外にPRしていくのが重要になってくると思う。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・はい。</p>
小澤アドバイザー	<p>・図書館に近いので、図書館との関連で、図書館を利用した人が人物館へ、人物館を利用した人が図書館へといった流れも必要だと思う。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・はい。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小澤アドバイザー	<p>・県庁周辺はバスや車の置き場が少ないので、見たい場合は行くが、女性は特に足が遠のくと感じるので、もっと一般の団体の人が来てもらえるような工夫も必要かと感じる。</p> <p>委託者も一生懸命頑張っていると感じるが、県民に一層人物館を知ってもらうのに、人間の口コミを活用してPRするのも必要かと思う。</p>	課長 百瀬友輝	・はい。
小澤アドバイザー	<p>・タブレットとか若い人達は見やすいが、年齢が高い人は使いにくい部分もあるので、もう少し、分かりやすく機械を使わなくてもパッと見て分かるような部分も必要かと思う。</p>	課長 百瀬友輝	・はい。
小口アドバイザー	<p>・アンケートの集計結果を細かく出していただいた中のH29アンケートで、人物館を「何で知ったか」との問に、「その他」が56%という結果であった。これでは、アンケートとしてあまり意味がないように思うが、この「その他」として思い当たるものはあるか。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・細かい所まで把握しきれていないが、思い当たるとすれば、委託先の文化学習協会が、自ら実施する講座等のイベントを広報している関係であるとか、また、立地場所が優れているので、通りがかりの人が入るといこともあると考えられる。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>・広報する場合に、例えば「チラシポスターで知った」が90%と多ければこれをやろうとか、インターネットはこれだけとか、ホームページをもっと工夫しようとかするためのものなので、「その他」欄をもう一度考えないと活かさないアンケートになってしまう。そのため、もう少し次回のアンケートを細かく分けて、効果のあるPRを考えてもらいたい。</p>	課長 百瀬友輝	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
小口アドバイザー	<p>・例えば県庁の前を通りかかって看板を見て来る人もいるし、他の用事についてに来る人もいると思う。わざわざ来るのは、駐車場の問題もあって県庁は来づらいが、県のイベント等についてに来る人もいるので、そういう人を増やすのも1つの方法だと思う。</p>	課長 百瀬友輝	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>・近代人物館、県庁の建物、県庁の歴史を知るだけでもかなり価値があると思うので、そういう観点から小中学校にもっと積極的に授業に取り入れてもらうことが大事だと思う。先ほどのジュエリーミュージアムは業界の発展だが、ここはまさに教育のためだと思う。</p> <p>今年、初めてDMを送ったそうだが、市町村教育委員会に行くなど、積極的にPRしたり、ジュエリーミュージアムと連携したり、まずは県内の教育のためにどうするかを考える必要があると思う。また、ついでに見てもらうという方との、両方の面からから考えてもらいたい。</p>	課長 百瀬友輝	・はい。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小澤アドバイザー	<p>・このアンケートの満足度を見ると、とても皆さん見て良かったなと思われると思う。また、交通の部分だが、都市計画等の関係でおそらく今後、県庁周辺に駐車場ができれば、大型バスもとまれるようになり、もっと見学者も増えていくと思う。</p> <p>そこで、1つ提案したいのは、せっかくジュエリーミュージアムや人物館もあるので、県庁見学コースを必ず作ってほしい。</p> <p>・見学コースに入っているのは知らなかった。私は県庁の方に見学できると聞いたので見学したが、コース的にグループが選択できるようなシステムづくりも必要かと思う。</p> <p>・図書館に来る学生がとても多いので、図書館との関連もとても必要かと思う。一緒にPRしたりする部分も必要かと思う。</p>	<p>課長 百瀬友輝</p> <p>課長 百瀬友輝</p> <p>課長 百瀬友輝</p>	<p>・県庁の見学コースですが、人物館も見学コースに入っていて、県警交通管制センター、水防対策ルーム、山梨ジュエリーミュージアム、県議会議事堂、そして当館などがコースの構成要素として入っている。</p> <p>・見学コースに入ってはいるが、来られる方が見学場所をどう選択するかは、来られる方の希望となる。</p> <p>・はい。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小澤アドバイザー	<p>・一般の方から、県庁の中が敷居が高くて行きにくいと聞いているので、そういう意味で郊外の方が県庁に来た時に、ここに寄ってみたいといったPRがされていないと強く感じている。見学コースのことを私は耳にしていないので、もっと強調していく必要があると思う。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・はい。</p>
小口アドバイザー	<p>・県庁見学コースは申し込みがあるのか。また、事前に申し込みをして、来た人はどこにいけばいいのか。県民情報センターに最初に行かなければならないのか。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・複数の施設を見学希望の場合、県民情報センターが窓口となり、そこで受け付けて調整している。 基本的には、県民情報センターに案内人がいるので、最初は電話連絡をとってから、県民情報センターに行った方がいいと思う。</p>
小口アドバイザー	<p>・県民情報センターでは、コースを渡してくれるだけなのか。また、何人以上でできるとか、利用者はどの程度で、県民情報センターはどこにあるのか。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・案内人がいて、概ね5人以上に対応している。利用者の実績までは把握していないが、県民情報センターは別館の2階にあって、最初は電話連絡で構わないと思う。</p>
小澤アドバイザー	<p>・甲府駅など皆さんが行きやすい場所に、案内板があって、情報を提供するといった場所も必要ではないかと思う。 ・最近見た。やってくれているなと思う。公民館などにチラシが大きく貼ってあるのも見た。</p>	課長 百瀬友輝	<p>・県庁の入口に新しく案内看板を作ったり、県庁構内では、のぼり旗を立てて、当館へ誘導するような方策も、つい最近だがとっている。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	・守衛さんは分かっているか。	課長 百瀬友輝	・はい
小口アドバイザー	・旧別館がフィルムコミッションの撮影にかなり使われているので、こういう場面で使われているといったPRはできないのか。小中学生は興味があるので、食いつきがあると思った。事業とはあまり関係はないが、より身近な存在になったり、PRする時にそういう話をするといいと思った。	課長 百瀬友輝	・映画やテレビ番組制作の会社には観光部局からPRしていると思うが、小中学生には今現在、PRしていない状況。アドバイザーの意見を参考にさせていただく。
小澤アドバイザー	・文学館との関連性も必要かと思う。	課長 百瀬友輝	・はい。